

令和2年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 社会・青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	134,945,032円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛錬し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的ホール、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	1,111 (85)	7,965 (209)	15,505 (498)	9,573 (264)	14,836 (474)
開所日数(単位:日)	156	143	158	145	156
団体利用可能日数(単位:日) ※1	103	114	157	145	155
団体利用実績日数(単位:日)	24	95	155	126	151
施設稼働状況(単位:%) ※2	23.3	83.3	98.7	86.9	97.4

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②指定管理者仕様書に基づき、適切な人員配置、管理を行っている。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等による広報活動のほか、SNSを通じた広報・情報発信を充実させた。出前講座等を通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業 自主事業	○受入事業を実施  ○下記主催事業を実施 ①家族対象事業 ②子ども対象事業 ③市民対象事業  ○下記自主事業を実施 ・「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」  ○下記研修・啓発事業を実施 ①「学校指導者研修会」 ②「青少年団体指導者研修会」 ③「川下り研修会」	○受入事業 ・85団体1,111人を受入れ  ○主催事業 ①(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ②(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ③(令和3年3月に実施予定)  ○自主事業 ・(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)  ○研修・啓発事業 ①(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ②(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ③(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

区分	確認事項	履行状況
指定事業 自主事業	④「ボランティアスタッフ研修会」 ⑤「アウトドア倶楽部」 ⑥岐阜市立小学校への出前講座の実施 ⑦自然情報の発信 ○研究・開発事業を実施	④(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10月に延期) ⑤(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ⑥出前講座1回に138人が参加 ※野外学習が中止となった岐阜市立小学校5年生を対象 ⑦下記の取組みを実施 ・「自然の家だより」、「季節の散策マップ」の発行 ・岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」への投稿 ・SNS(Instagram・Facebook・YouTube)に配信 ○研究・開発事業 ・出前講座用の活動メニューの開発 ・各種職員研修の実施 ・周辺の動植物調査及びびデータ収集 ・「自己課題」への取組み
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②寝具(毛布・ベッドパッド)クリーニング ③空気環境測定 ④水質検査 ⑤その他	①【日常】開所日は毎日実施 【定期】5月・6月・7月・8月に実施 ②9月に実施 ③5月・7月・9月に実施 ④8月に実施 ⑤職員による施設点検(整備) 【館内外点検】 ・団体の退所時 ・休所日前、休所日後 【キャンプ場】【散策道】 ・団体の入所前、荒天後 【豚熱対策として消石灰の散布】 ・期間:4月1日～9月30日 頻度:月に1度程度、雨天後 【新型コロナウイルス感染症感染防止対策の実施】 ・マニュアルに基づく館内の消毒作業 ※その他、仕様に基づき適正に実施
施設修繕	①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施	①迅速な修繕の実施例 ・火災警報器ガス漏れ探知機電源取替修繕 ・厨房防火ダンパー取替修繕 ・受水槽ドレンバルブ取替修繕 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施例 ・散策道の整備 ・網戸破れ修繕 ・活動備品の点検、修繕
危機管理・ 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策	①下記の取組みを実施 ・個人情報保護体制について、窓口やホームページで公開している。 ・個人情報保護担当者を配置している。 ・「個人情報保護研修会」を実施している。 ②下記の取組みを実施 ・新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアルを策定し、マニュアルに基づき、その運用を行っている。 ・土砂災害に関する避難等の対応方法について策定した。 ・各種安全マニュアルの見直し、改善を図り、適切にその運用を行っている。 ・ウォークラリー、オリエンテーリングのコース点検、巡回を適切に行っている。 ・消防訓練、防火設備等の管理を継続して適切に行っており、「表示マーク(金)」の交付を受けている。 ・猛暑時に、暑さ指数計やミスト扇風機を活用し、熱中症対策を行っている。

区分	確認事項	履行状況
危機管理・法令遵守	③関係法令の遵守	③下記の取組みを実施 ・岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	○受入事業 ・「利用者アンケート」…すべての利用団体を対象に実施 質問内容:「利用全般」「職員の対応」など  ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施
利用者アンケートの実施結果	○受入事業 ・「利用者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 ①回収枚数 23枚 ②各項目の満足度・主な意見 ※「食堂の食事」については、食事の提供を休止しているため無回答 「利用全般」 (100.0%):大変満足69.6% 満足30.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」 (100.0%):大変満足69.6% 満足30.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」 (100.0%):大変満足87.0% 満足13.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「食堂の食事」 ( - %):大変満足 - % 満足 - % 普通 - % 不満 - % 大変不満 - %  内訳 【初回利用団体】 3枚 「利用全般」 (100.0%):大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」 (100.0%):大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」 (100.0%):大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「食堂の食事」 ( - %):大変満足 - % 満足 - % 普通 - % 不満 - % 大変不満 - %  【複数回利用団体】 20枚 「利用全般」 (100.0%):大変満足65.0% 満足35.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」 (100.0%):大変満足65.0% 満足35.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」 (100.0%):大変満足85.0% 満足15.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「食堂の食事」 ( - %):大変満足 - % 満足 - % 普通 - % 不満 - % 大変不満 - %  《主な意見》 ・木ゴマでは楽しく活動させていただきました。子どもたちも笑顔が多く、私たちも嬉しかったです。 ・野外炊事では、準備が大変でしたが、職員の方のおかげで美味しくできました。 ・キャンプファイヤーを初めて行いましたが、施設側で色々協力していただいたおかげで、とても盛り上がりました。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	○受入事業 意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ会等で、施設としての考え方を説明している。 利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。  《主な意見と対応》 ・謎解きラリーでは、子どもたちが最初に答えを見つけてしまった点など改善してはどうか。 ⇒問題の難易度や新たなポイントを追加をするなど、すぐに改善しました。  ・弁当やパンを持ち込むのは寂しい感じがしました。 ⇒新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底しながら、食事提供が再開できるよう市や給食業者と協議を進めています。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【少年自然の家】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
I 公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	すべての利用者の平等利用を確保するため、きめ細やかなモニタリングを実施しているか。 モニタリングの結果を真摯に受け止め、常に市民の目線で、改善に向けた取組みを実施しているか。 「ユニバーサルサービスの推進」を重点目標とし、モニタリングに関する取組みの他にも、3つの取組みを着実に実施しているか。 ①類似施設への視察や類似施設で働く職員との意見交流を積極的に行い、先進的な取組みや見本となる取組みを取り入れる。 ②事業団の運営する施設が緊密に連携して、核施設の取組み状況をチェックし、改善の促進を図る。 ③人権啓発研修会、車いす体験研修会などの研修会に積極的に参加し、様々な人の視点で施設運営の見直し、改善を図る。 ソフト・ハード両面で、職員の専門性・ノウハウを生かし、ユニバーサルサービスの推進を図っているか。	A	A	A
		(2)情報提供、広報の方策	情報公開については、下記の基本的な考え方に基づいた対応を行っているか。 (1)関係法令の遵守 (2)公開請求について (3)情報公開体制の公表 (4)全職員への周知徹底 より多くの市民の皆さんに情報提供ができるよう、4つの方策に基づいて、広報活動の推進を図っているか。 (1)各種媒体の積極的な活用 (2)学校との協体制の構築 (3)ホームページの充実 (4)積極的な体験機会の提供	S	S	S
		(3)個人情報保護するための方策	個人情報については、下記の基本的な考え方に基づいて、適切な取扱いを行っているか。 (1)関係法令の遵守 (2)個人情報の取扱いについて (3)個人情報保護体制の公表 (4)全職員への周知徹底	A	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの	利用団体の年間予約については、平日の学校利用の優先などに配慮し、調整を図っているか。 管理運営する他施設と十分連携し、当事業団全体で、人権に対する取組みを推進しているか。 反社会的勢力対策に万全を期すため、組織的な体制を整え、基本方針に基づいた対応の徹底を図っているか。	S	S	S
		区分評価				
II 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各事業の重点目標に基づいて、改善、工夫又は新規の取組みを積極的に行っているか。 <受入事業> (1)自然の家の3つの願いに基づく利用の推進 (2)専門職員による指導・支援体制の充実 (3)利用満足度の向上 <主催事業> (1)自然の家の3つの願いに基づく事業運営の推進 (2)新規活動プログラムの提供と充実した指導・支援 (3)家族間交流を図る活動プログラムの推進 (4)事業満足度の向上 <研修・啓発事業> (1)体験型研修会の充実 (2)積極的な自然体験活動の普及 (3)積極的な自然情報の発信 <研究・開発事業> (1)専門性の向上を図るための職員研修の充実 (2)新規活動プログラムの積極的な開発 (3)個人研究「自己課題」への取組みの推進 <自主事業> (1)「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の充実 (2)幼児対象事業及び出展事業の推進	S	S	S
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策	アンケート調査及び聞き取り調査を、事前・当日・事後を通して、段階的に実施しているか。 利用者ニーズ、苦情などに適切に対応するため、3つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。 (1)組織的な対応の徹底 (2)実務研修(OJT)の推進 (3)外部研修会への積極的な参加	A	A	A

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
Ⅱ 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(3)利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者のサービス向上を図るため、4つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。 (1) 接遇方針の周知徹底 (2) 体験を通じたプロモーション活動の推進 (3) 各種媒体を活用したプロモーション活動の推進 (4) ニーズに対応した設備整備の推進	S	A	A	
		(4)利用促進、利用者増の方策	利用促進、利用者増を図るため、現状を踏まえた3つの方策に基づき、具体的な取組みを実施しているか。 (1) 冬期に特化した活動プログラムの開発とプロモーション活動の推進 (2) 主催事業における“常に新しい活動プログラム”の提供 (3) 公園管理者や体育館との協力事業の推進	S	S	S	
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	サービスの質を確保するための、4つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。 (1) きめ細やかなモニタリングの実施 (2) 改善システムの適切な運用 (3) 体育館・公園管理者との協力体制の構築 (4) 類似施設との協力体制の構築	A	A	A	
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が、充実した指導・支援を行っているか。	S	S	S	
		(7)その他指定管理者の提案によるもの	市内学校の利用が円滑に行えるよう、必要に応じて、臨時開所をしているか。 活動プログラムを効果的に提供できるよう、専門性やノウハウを生かした教材づくりを行っているか。	A	A	A	
		区分評価					A
Ⅲ 効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	過度な経費の削減により、サービスの低下を招かないよう、サービスとコストのバランスを十分に踏まえた施設運営を行っているか。 (1) 施設管理のための適正な予算措置 (2) 長期展望に立った施設運営による経費の削減とサービスの向上 (3) サービスの向上と安全の確保のための職員体制	A	A	A	
		(2)収支計画の妥当性	過去の実績をもとに、必要経費の見直しを図り、実情に即した収支計画を立案しているか。 (1) サービスとコストのバランスを考慮した収支計画の立案 (2) 重油価格などの物価変動の激しい経費の収支計画 (3) 適正な教材費の設定	A	A	A	
		(3)管理経費削減の具体的方策	“職員でやれることは職員で”をモットーに、自前での修繕・整備を推進し、大幅にコストを削減しているか。 消耗品や備品の一括購入により、経費を削減しているか。 電気使用量・料金の削減を図るため、下記の取組みを行っているか。 ① 岐阜市との協議の上、照明のLED化を推進 ② デマンド監視システムによる電力の効率的な使用 ③ 最適な電力供給会社の選定 ④ 消灯チェックなどを行う館内点検の強化 ⑤ 全職員で毎月の電気使用量・料金チェック 重油の単価契約を事業団独自で行い、燃料費の削減を行っているか。 電子媒体の活用により、切手代などの郵送料を削減しているか。 各種冊子の印刷製本を自前で行い、印刷製本費の削減を行っているか。	A	A	A	
		(4)その他指定管理者の提案によるもの	教材を安価に仕入れ、利用者に低価格で提供することで、サービスの向上(実費負担の軽減)に努めているか。 “手づくりのぬくもり”を大切にしながら、サービスの向上に努めているか。 低炭素社会を創出するため、「岐阜市環境基本計画」等に則り、環境に配慮した事業運営を行っているか。	A	A	A	
		区分評価					A
Ⅳ 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)経営基盤の安定性	経営理念「わたしたちは、教育・文化活動を通じて、市民の健康な心と体づくりを応援し笑顔と生きがいのあふれる豊かな生活づくりに貢献していきます」を2つの点から実現しようと努力しているか。 (1) 公益法人としての高い信頼性 (2) 安定した財務内容	S	A	A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
IV 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(2)スタッフ配置の妥当性	充実した指導・支援体制と無理のない勤務の両立を図っているか。	A	A	A
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が施設運営を行っているか。 (1)職員の高度な専門性とノウハウの活用 (2)自然の家の運営に適した資格の保有	A	A	A
		(4)スタッフの管理、監督体制	8つの項目に重点を置き、管理、監督体制の徹底を図っているか。 (1)目標の共有と達成に向けたチームワークづくり (2)施設長会議・所内経営会議・職員会議による周知・徹底 (3)法令の遵守 (4)女性が働きやすい環境の整備 (5)ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくり (6)セクシャルハラスメント・パワーハラスメント対策 (7)メンタルヘルス対策 (8)報告・連絡・相談の徹底	S	S	S
		(5)スタッフの人材育成の方策	4つの方策に基づく取組みを通して、自然の家の運営に適した人材の育成を図っているか。 (1)当事業団全体の研修会の実施 (2)自然の家独自の研修会の実施 (3)実務研修(OJT)の実施 (4)個人研究「自己課題」への取組みの推進	A	A	A
		(6)リスクへの対応方策、利用者への安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど	リスクへの対応に万全を期し、安全・安心な施設運営を行っているか。 (1)事故防止対策 (2)防犯対策 (3)「表示マーク(銀)」の交付 (4)「応急手当協力事業所」の登録 (5)環境衛生対策 (6)緊急時の対応	S	S	S
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	下記のように、リスクへの対応能力を備えているか。 (1)全国市長会市民総合賠償補償保険での対応 (2)施設管理に関する賠償責任保険への加入 (3)主催事業等における保険への加入 (4)当事業団の資金力について	S	S	S
		(8)その他指定管理者の提案によるもの	学校及び教育委員会、市内公共施設と十分に連携して施設運営を行っているか。	A	A	A
		区分評価				
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(「地元」)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	岐阜市が標榜する「5年先行く教育」の実現のため、英語教育、理数科教育に寄与する事業の充実を図っているか。 (1)「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の運営 (2)「ぎふサイエンス・キャンプ」の受け入れ (3)「ぎふサイエンスフェスティバル」への出展 市内の児童生徒に効果的に「アクティブ・ラーニング」の場を提供できるよう、市内学校を優先して利用調整を図っているか。 三輪地域の振興、活性化に貢献できるよう、協力事業、出展事業を推進しているか。 (1)三輪地域の環境を生かした協力事業の推進 (2)地元イベントでの出展事業の推進 三輪地域の自然情報を積極的に発信しているか。 (1)「季節の散策マップ」の配布 (2)ホームページ等による紹介 「子どもが夢を！ 青少年が志を！ 市民みんなが生きる喜びを！」の具現に向けて、市内各種団体の健全な育成に寄与できるよう努めているか。 (1)出前講座や事業協力の推進 (2)遠足や社会見学などでの活動プログラムの提供と指導・支援 (3)大学ボランティアスタッフの育成 再委託業務の指名については、地元業者を考慮しているか。	S	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	地元の住民、高齢者、障がい者を積極的に雇用しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	備品、資材等を調達する際は、原則、市内の業者に発注しているか。	A	A	A

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(「地元」)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(4)地元での社会活動等への参加	「安全・安心のまち 三輪」を推進する施設としての役割を果たしているか。 (1)「子どもスマイルステーション」 (2)応急手当協力事業所 行事などを通して、幅広く地元での活動に参加しているか。	S	S	S
		(5)その他指定管理者の提案によるもの	「MAGロード(東海環状自動車道)」岐阜三輪スマートIC(仮称)の設置にともなう地元の活性化に寄与しているか。 (1)市外・県外の団体の受け入れ体制の整備 (2)市外・県外への広報活動の充実 「岐阜ファミリーパーク再整備計画」の進捗状況に即した事業を推進し、公園や地元の活性化に寄与しているか。	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み  
に対する評価

(I-(2))

・主催事業、自主事業における各事業の募集をはじめ、施設案内、活動プログラム、自然情報等、自然の家の様々な情報をより多くの市民の皆さんに提供するため、「広報ぎふ」や地域情報誌、ちらし配布やホームページ等各種媒体を積極的に活用した広報活動の推進を図った。

・非常事態宣言により学校が休校中の子どもたちに、家庭でできる様々なレクリエーションを知ってもらおうと、**YouTube動画の配信を始めた**。これまでの自然の家のノウハウを生かしながら、家にある物を使って、家族で楽しめる遊びを中心に、多くの子どもたちに情報を発信した。また**この取り組みは、マスコミでも取り上げられ大きな反響を呼んだ**。

・新着情報として、主催事業の募集案内や活動の様子、季節の自然の紹介など、「Facebook」や「Instagram」を有効に活用した広報を実施し、ホームページからSNSへリンクを張るなど、**SNS世代の若い年齢層への情報発信を積極的に行った**。

上半期SNS投稿回数:各38回投稿(Facebook、Instagram)

1投稿あたりの「いいね」の数が、**前年度下半期と比べ上半期は108.5%と上昇した**。

・事業団のホームページ上にSNS開設のお知らせと同時に、「**岐阜市教育文化振興事業団SNS運用方針**」も公表し、SNSの情報発信にあたり利用者の誤解や混乱を生じないように努め、法令等に従い適切に管理できている。

(I-(4))

・令和2年度における利用受入れについて

・臨時開所による対応

できる限り希望に添えるよう、**上半期は9日間**休所日を臨時開所して対応した。

・令和3年度に向けての年間利用調整について

・利用団体の年間利用調整(年間予約)は、各団体から利用希望時期を記入した利用希望調査書を提出していただいたうえで、**新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアルに則った「新たな利用のしかた」を前提として、利用調整原則に基づき調整を図った**。

また、その結果は小中学校や子ども会、ボーイスカウト等の代表者で構成されている利用調整委員会で審議され承認を得ることができた。

・小中学校の利用では、学校行事(修学旅行・運動会等)と重ならないよう配慮することや、特別支援学校においては、子どもの体調管理を考慮し、原則、利用日の次の日が学校休業日となる木金の利用とした。また、公平・公正な年間利用調整となるよう、「**第3希望での調整**」、「**小中学校の利用では、振替が必要となる金土利用**」、「**学校休業日明けで、子どもの健康状態が把握しづらい月火の利用**」が続かないよう配慮した。

・利用希望時期は、1か月を上旬・中旬・下旬に分け第3希望まで記入していただいているが、できる限り第1・第2希望で調整できるよう、以下の点を考慮し調整を図った。

○新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアルに基づく、新しい定員での受入れ

○活動内容に配慮した組み合わせ

○休所日の臨時開所(5日間)

・【令和3年度上半期における利用調整結果】

●岐阜市立小中学校及び特別支援学校

第1希望:62校(88.6%) 第2希望:8校(11.4%) 第3希望:0校(0.0%)

※岐阜市立小中学校以外の学校、青少年団体等については、下半期に調整

(Ⅱ-1)

- ・受入事業での利用満足度

「利用全般」 (100.0%):大変満足69.6% 満足30.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%  
「施設・設備」 (100.0%):大変満足69.6% 満足30.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%  
「職員の対応」 (100.0%):大変満足87.0% 満足13.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%  
「食堂の食事」 ( - %):大変満足 - % 満足 - % 普通 - % 不満 - % 大変不満 - %

- ・SNSを活用した情報発信

非常事態宣言により学校が休校中の子どもたちに、家庭でできる様々なレクリエーションを知ってもらおうと、**YouTube動画の配信を始めた**。これまでの自然の家のノウハウを生かしながら、家にある物を使って、家族で楽しめる遊びを中心に、多くの子どもたちに情報を発信した。またこの取り組みは、**マスコミでも取り上げられ大きな反響を呼んだ**。

- ・新着情報として、主催事業の募集案内や活動の様子、季節の自然の紹介など、「Facebook」や「Instagram」を有効に活用した広報を実施し、ホームページからSNSへリンクを張るなど、SNS世代の若い年齢層への情報発信を積極的に行った。

上半期SNS投稿回数:各38回投稿(Facebook、Instagram)

1投稿あたりの「いいね」の数が、**前年度下半期と比べ上半期は108.5%と上昇した**。

- ・入所時に利用者に対して行っていた**オリエンテーション(施設の使い方の説明)動画のDVDを作成して、事前に学校等へ配布できるサービスを新たに開始した**。事前に学校で視聴してくることで、野外学習における事前学習や入所式の時間短縮にもつながり、利用した小学校からは「動画の内容も分かりやすく、子どもたちが楽しめる内容に工夫されていて大変良かった」といった声をいただいた。

(Ⅱ-3)

- ・**岐阜市立小学校への出前講座の実施**

新型コロナウイルスの影響で岐阜市少年自然の家での宿泊研修が中止になった、**岐阜市立の小学校5年生を対象に、宿泊研修で行われていたクラフト体験などの出前講座を企画**。これまでに**12校の小学校から申し込みがあった**。また、9月26日に土曜授業の一環として行われた茜部小学校への出前講座においては、**マスコミでも取り上げられ、大変多くの反響を呼んだ**。参加した子どもや学校からは、職員に対して多くの感謝の言葉をいただいた。

【出前講座の内容】 ※活動時間は学校の授業に組み込みやすいよう1コマ45分からとした。

- 記念メダル作り 活動時間:45分
- ピンナップボード(焼杉バージョン)作り 活動時間:45分(焼杉の場合はプラス45分)
- 竹ばし作り 活動時間:45分
- 竹スプーン作り 活動時間:90分
- キャンドルサービス 活動時間:45分

(Ⅱ-4)

- ・非常事態宣言により、利用停止期間(臨時休所)においては、岐阜市少年自然の家に来られない利用者のために、自然の家から情報発信をしようと、InstagramやFacebookに加えて**新たに動画配信サイトYouTubeでの配信をステイホーム期間より始めた**。また、新型コロナウイルスの影響で岐阜市少年自然の家での宿泊研修が中止となった**岐阜市立の小学校5年生を対象に、出前講座を企画した**。このように**コロナ禍においても、様々なツールを活用、工夫することで少年自然の家の利用促進、利用者増に努めた**。

- ・こうした取り組みを多くの方にアピールするため、**職員が地元の新聞社を訪問してPRするなど、マスコミ各社にも大きく取り上げてもらうことができた**。また、岐阜市立の小学校への出前講座では、新聞やニュースを見た学校から問い合わせが多くあり、新たに4校から申し込みを受け、反響は大きかったといえる。

【自然の家の取り組みが紹介された記事など】

- 岐阜新聞社『家でレクを楽しもう 岐阜市自然の家職員が動画配信』5月12日朝刊
- NHK『新型コロナの影響“野外学習中止”小学校で出前講座』9月26日放送
- 岐阜新聞社『中止の宿泊研修に代わる思い出を 竹スプーン作り伝授』9月27日朝刊
- 中日新聞社『自然の家出前講座 竹スプーンを作る 岐阜・茜部小』10月6日朝刊
- 朝日新聞社『出前講座で「野外学習」気分 自然の家職員小学校で指導』10月6日朝刊
- 岐阜新報『Make a bamboo spoon 茜部小学校 竹スプーン作り』Vol.91 11月1日号

(II-(6))

- ・事業計画書28ページに記載している職員配置の原則に則り、すべての団体のすべての活動に職員を配置し、適切に指導・支援を行った。特に野外炊事や川での活動には、より安全性を高めるため、複数の職員を配置した。
- ・天候の急変、サル・イノシシ・クマの出没情報等に迅速に対応するため、ウォークラリー、オリエンテーリングを実施する際は、コースを巡回する職員を配置した。
- ・急な活動計画の変更があった場合も、「朝の打合せ会」等で、指導・支援体制の調整を図り、適切に職員を配置した。
- ・準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置し、指導者への適切な指導・支援に努めた。
- ・上記の取組みの結果、「利用者アンケート」の記載には、「指導・支援体制が充実している」、「指導・支援の在り方が適切である」といった内容が大変多く見られた。  
**「職員の対応」の満足度100.0%**(大変満足87.0% 満足13.0%)となり、成果・効果は顕著と言える。

(IV-(1))

- ・当事業団は、設立以来32年間、岐阜市の公益事業に従事し、様々な公共施設の管理運営による経験と実績を積み重ねて、営利を目的としない専門性の高い事業を提供できるノウハウと技術を蓄積してきた。加えて、平成23年には、市の外郭団体として初めて「公益財団法人」に認定され、以降、公益性の高い団体として、社会的な信頼も継続しつつ、質の高い事業を実施している。  
今期のコロナ禍で活動が制限されている中、**自然体験に関する動画配信や出前講座、施設の安全対策など、専門性の高いノウハウと技術を活かしながら、指定管理者としての使命を果たし、経営理念の実現に向け、積極的に取り組むことで、公益法人としての信頼に応えている。**
- ・財務に関しては、業務のマルチ化による効率的な人員配置や電力自由化に伴う入札制度の導入など、経営努力で生み出された財源を、事業の充実などで市民に還元している。そのような中、財務基盤の安定性を示す**「自己資本比率」は、令和元年度決算においても高い数字を維持している。**また、短期的な支払能力を示す**「流動比率」は、継続して100%を超えており、安定した財務基盤を確保している。**加えて、経営の安定を図るため、平成22年度から**「経営安定基金」を設置することで、不測の事態が起こった場合に、対応できる体制を有している。**

【財務の安定性を示す主要指標】 (単位:%)

	H27	H28	H29	H30	R1
自己資本比率	66.5	66.8	67.6	66.8	68.3
流動比率	117.1	113.6	108.7	106.3	106

(IV-(4))

- ・**岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定**  
優秀な人材の確保と職員の働く意欲を向上させるため、育児と仕事の両立支援や女性の活躍推進に向けた取り組みを通して、職員が働きやすい環境を整備し、良質な市民サービスの提供につなげている。この度、岐阜県に「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定を申請した結果、**これまでの事業団の取り組みに対し、審査会で27項目中21項目が評価され、他の模範となる企業のひとつとして、「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業(147社/3,200社「令和元年度末」)の認定をいただいた。**  
「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定は毎年審査があるため、今後も継続できるよう、さらなる職場環境の向上に努める。

(IV-(6))

・ **新型コロナウイルス対策**

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、岐阜市と緊密に連携を取りながら、イベント等の開催自粛、ポスター等による利用者への啓発、アルコール消毒の設置などを速やかに実施した。また、国や自治体が発表したガイドラインを基に、「**新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアル**」を策定し、**保健所の指導のもと、職員向け衛生研修会や受入れ訓練を実施**するなど、感染防止対策を徹底して行っている。

● **新型コロナウイルス感染症に関する取り組み** (感染防止マニュアルより抜粋)

【施設及び職員の対策】

- ・出勤前の検温、対策実施チェックシートの記入、マスク着用、アルコール消毒液の設置、ビニールカーテンの設置、こまめな換気等。
- ・①入所時、②受付、③入(退)所式、④事前打合せ会、⑤施設の定員数、⑥その他の対策の項目ごとに詳細をマニュアルで規定。

【利用者の対策】

- ・3密回避を徹底してもらい、体調に異変を感じた時は、すみやかに職員に申し出てもらおう。
- ・①入所時、②受付、③入(退)所式、④その他、館内での過ごし方の項目ごとに詳細をマニュアルで規定。
- ・ソーシャルディスタンスを考慮し、宿泊室や研修室等の定員数の見直しと表示。
- ・消毒及び清掃方法については、清拭消毒をする場所・回数・実施者など詳細をマニュアルで規定。
- ・「利用者」、「職員及びその家族」と区別し、それぞれの場合で感染の疑いの際の対応に分けて、詳細をマニュアルで規定。
- ・方が一、利用者に感染が発生した場合は、すべての施設の利用を停止する。利用の再開については、保健所の指導のもと、社会・青少年教育課と協議の上、決定する。

・ **土砂災害対策**

岐阜市少年自然の家周辺が土砂災害(特別)警戒区域に当たることから、土砂災害の発生または発生のおそれがある場合に対応すべき必要な事項を「**土砂災害に関する避難等の対応について**」として新たに定めた。

・ **熱中症対策**

暑さ指数計を活用し、熱中症の危険度を判断する数値として、暑さ指数(WBGT)の情報を利用者へ提供した。また、暑さによる活動の変更にも柔軟に対応した。さらに、ミスト扇風機を猛暑時のオリエンテーリングやウォークラリー、野外炊事の休憩地点に設置し、熱中症予防に努めた。利用団体についても、熱中症で救急搬送されるような事態がなく、野外活動を行う自然の家として、熱中症対策を十分に行うことができた。

・ **豚熱対策**

豚熱ウイルスの拡散防止に向けて、公園管理者と協力して、引き続き遊歩道出入口に消石灰を散布することとした。自然の家の管理区分ではないが、散布する9か所のうち2か所を自然の家が散布することとし、月1回程度及び雨天後に消石灰を散布することで、豚熱ウイルス拡散のリスク減少に努めた。

(IV-(7))

・ 主催事業や自主事業の参加者の怪我や事故に対応するため、全国市長会市民総合賠償保険以外に、事業団独自で傷害保険に加入し、方が一に備えている。また日帰りの事業について、保険加入方法を**事業団が管理する全施設の年間包括契約とし、毎年、保険内容を精査し、仕様に基づいた競争入札を行うことで、保険料の上昇を抑えつつ、「往復途上傷害危険担保特約」**の他、「**熱中症危険補償特約**」を付加し、**補償内容の維持を図った。**

・ **熱中症危険補償特約**

近年増加傾向にある熱中症に対応するため、普通傷害保険の補償内容に「**熱中症危険補償特約**」を付加。事業参加者の方が一に備えるとともに、事業団に係るリスクへの対応を強化している。

・ **給付保険金額の維持**

熱中症対策の強化を図るとともに、死亡・後遺障害に対する補償額の引き上げも行い(令和元年度)、事業を実施する上での安心・安全面の向上を図っている。

【新契約】

給付内容	1人あたりの保険金額
死亡・後遺障害保険金額	10,000,000円
入院保険金(日額)	5,000円
手術保険金(入院時)	50,000円
手術保険金(外来時)	25,000円
通院保険金(日額)	3,000円

【旧契約】

給付内容	1人あたりの保険金額
死亡・後遺障害保険金額	9,000,000円
入院保険金(日額)	5,000円
通院保険金(日額)	3,000円

(V-1)

・ **地元プロスポーツチームの応援**

市民に夢と感動を与え、一体感を醸成するプロスポーツチーム(FC岐阜、岐阜スウィーパス、リオレーナ)の活動を市民の文化として育むため、事業団も職員一丸となってチームを応援している。そのため今回、事業団のホームページにバナーリンクの掲載を行った。バナーリンクの掲載によって、多くの市民の目に留まる機会を増やすことで、興味をもってもらい、試合会場に足を運ぶきっかけになることが期待できる。

・ **ベルマーク運動で地域の小学校に協力**

ベルマーク運動に取り組んでいる小学校に協力するため、これまで職場で廃棄していた使用済みのインクカートリッジ(ベルマーク5点分)やトナーカートリッジ(ベルマーク50点分)を近隣の学校に寄付を始めた。寄付した高得点のベルマークは、学校の運営に必要な一輪車やボールなど、備品購入の手助けにすることができた。学校やPTAのみなさんからは「ありがとうございます」といった声をいただいた。引き続き、ベルマーク運動を通して地域の小学校に協力していく。

**【ベルマークの協力先】**

協力施設

(提供先)

○ **岐阜市少年自然の家 (三輪南小学校)**

○ ドリームシアター岐阜 (明郷小学校)

○ 各青少年会館 (明郷小学校・日野小学校)

○ 岐阜市長良川以南の各体育館 (白山小学校)

○ ハートフルスクエアG (徹明さくら小学校)

(V-4)

・ **地元での活動に参加・協力**

職員が自主的に施設周辺の清掃を行っている。施設周辺の道路や公園を定期的・継続的に清掃することで、地元の美化に貢献している。地域の美化活動に協力することで、施設のイメージ向上も図っている。また、年6回開催される三輪北地域での資源分別回収にも協力を続けている。

・ その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p><b>【所管課の意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IV-(6)指定管理者A、所管課B(前回の評価委員会D) 危機管理マニュアルや連絡体制の見直しを図るとともに、異物混入の再発防止策を講じている点は、リスク対応に万全を期し、安全・安心な施設運営を行っているといえるが、この取組みを今後も継続し、安全・安心の実績を重ねる必要があると考え、この評価とした。 ⇒危機管理マニュアルについては、今後も継続して徹底を図っていく。また新たに新型コロナウイルス感染症に関するマニュアルを策定し、マニュアルに則った感染症対策を講じている。</li> <li>・ V-(1)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) この項目における業務履行は、評価項目の要求水準とおりといえるが、下半期の事業のさらなる充実を求めたいため、この評価とした。 ⇒令和2年度下半期の事業計画において、充実を図るよう検討している。</li> <li>・ V-(5)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) この項目における業務履行は、評価項目の要求水準とおりといえるが、積極的な働きかけを通じた地域の活性化等に寄与する提案をさらに期するため、この評価とした。 ⇒被災地への義援金活動を継続して実施している。(令和2年7月豪雨災害への義援金活動)</li> </ul> <p><b>【指定管理者評価委員会の意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独立行政法人 国立青少年教育振興機構において、自然体験活動が子どもたちにとっていかに大切かということを呼びかけているが、自然体験ミニイベントや出前講座など、自然体験できるものを今後も計画していったほしい。 ⇒新型コロナウイルスの影響で岐阜市少年自然の家での宿泊研修が中止になった、岐阜市立の小学校5年生を対象に、宿泊研修で行われていたクラフト体験などの出前講座を企画。これまでに12校の小学校から申し込みがあった。</li> </ul>
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画書に記載した内容の着実な履行</li> <li>・ 専門性の追求と魅力あるプログラム開発</li> <li>・ 市の施策に応じた事業の展開 「コンパスキューブ」の考え方に基づいた「アクティブ・ラーニング」の充実</li> <li>・ 自然の家を取り巻く環境の変化に応じた取組み 岐阜ファミリーパーク再整備に向けた提案</li> <li>・ 経費の縮減とサービスの向上の実現 既存業務の見直し、事務の簡素化・効率化の意識向上</li> <li>・ 給食業務の再開に向けた安全対策の強化と着実な実施</li> <li>・ 市と連携した新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応</li> </ul>

### ●所管課の意見

●指定管理者や所管課の評価が、前回の評価委員会の評価から変化した項目

△指定管理者や所管課の評価がA(標準)でない項目

□指定管理者と所管課で評価が異なる項目

I-(2)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)

非常事態宣言下、家庭でできる様々なレクリエーションについて、Youtube動画の配信による情報発信を開始した点は、各種媒体の積極的な活用として評価した。また、コロナ禍により施設が利用停止となっている状況のなかで、このような情報発信を行い、一斉休校により自宅にいる子どもたちへ、積極的な体験機会を提供しようと試みている点についても併せて評価した。

I-(4)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)

利用受入れについては、臨時開所など利用者に配慮した対応やきめ細やかな利用調整を行っている点や新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアルに則った「新たな利用のしかた」を前提とした利用調整を図っている点を評価した。

II-(1)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)

比較が可能な指標である受入事業の利用満足度について100%を維持している。また、入所時に利用者に対して行っている施設の使い方の説明についての動画を作成し、事前に学校等へ配布できるサービスを新たに開始する等、改善、工夫又は新規の取組みを積極的に行っていると判断し、この評価とした。

II-(3)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) (●△□)

コロナ禍で宿泊研修が中止となる中、これまで宿泊研修で行われていたクラフト体験などの出前講座を岐阜市立の小学校5年生を対象に企画し、体験を通じたプロモーション活動の推進を行っているが、今期においての実施実績が1校であるため、この評価とした。

- II-(4)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会A) (●△)  
施設が利用停止となりステイホーム期間が続いている中での対応として、Youtube動画を作成するなど、様々なツールを活用、工夫することで、自然の家の利用促進、利用者増に努めている。Youtube動画については、12コンテンツ作成しており、情報提供の充実を図った点を評価した。
- II-(6)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)  
すべての団体のすべての活動に職員を配置、また、野外での活動にはより安全性を高めるため、複数の職員を配置する等の対応を行っており、利用者アンケートにおける「職員の対応」の満足度が、引き続き高い水準を維持しているため、この評価とした。
- IV-(1)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) (●△□)  
自己資本比率や流動比率の指標は、従来と大きな変動がなく、高い信頼性や安定した財務内容は引き続き維持していると判断し、この評価とした。
- IV-(4)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)  
働きやすい職場環境を整備し、職員の働く意欲を高めており、市民サービスの向上を引き続き図っている点や岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業に認定された取組みを継続し、職場環境の向上に努めていることを評価した。
- IV-(6)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会A) (●△)  
「新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアル」を策定するとともに、保健所の指導のもとでの職員向け衛生研修会や受入れ訓練の実施をはじめ、リスク対応に万全を期し、マニュアルにより安全・安心な施設運営を行っていることを評価した。
- IV-(7)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)  
熱中症危険補償特約の付加など、事業参加者の万が一に備える体制を維持・充実している点を評価した。
- V-(1)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) (●△□)  
イングリッシュキャンプ、サイエンスキャンプなどは中止となり提案を実現できていない、また、この項目における業務履行は、評価項目の要求水準であるとして、評価した。
- V-(4)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)  
施設周辺の職員の自主的な清掃等、地域美化活動に積極的に協力、協力回数も増加している。また、三輪北地域での資源分別回収に協力する等、地元での社会活動等に積極的に参加していることを評価した。

### ●指定管理者評価委員会の意見

○昨年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本市小学校5年生の宿泊研修での利用を全て中止するなど団体利用可能日数が大幅に減っているものの、出前講座等を企画し、様々なツールを活用、工夫することで、利用促進、利用者増加に努めている。